

- 問1 現在の島根県に位置し、戦国時代から江戸時代にかけて日本最大の銀産出量を誇った銀山について、16世紀に朝鮮半島から伝えられ、生産量を劇的に増大させた精錬技術の名前として正しいものを選んでください。 (2020年 熊本県公立入試 類似)
1. 灰吹法（はいふきほう） 2. たたら吹き 3. 上尊法 4. 南蛮絞り
- 問2 日本の土地制度の歴史において、奈良時代の「墾田永年私財法」による私有化の容認や、安土桃山時代の「太閤検地」による耕作権の確立に共通する目的や性質として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 秋田県公立入試 類似)
1. すべての土地を国の所有に戻し、農民が土地を自由に売買することを厳しく制限すること 2. 年貢の負担をなくすことで、農民が自由に他の地域へ移動できるようにすること 3. 土地に対する農民などの権利や所有関係を明確にし、生産意欲を高めたり税を確実に徴収したりすること 4. 武士が農村に住むことを奨励し、土地の管理をすべて現地の武士に任せること
- 問3 豊臣秀吉が農民から刀、脇差、弓、槍、鉄砲などの武器を没収した政策について、その目的を説明したものとして最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2014年 沖縄県公立入試 類似)
1. 全国のカリスト教徒を把握し、布教を制限して幕府の統制を強めるため 2. 土地の良し悪しや面積を調べ、石高によって年貢の量を確定させるため 3. 没収した鉄や銅を鑄造して貨幣を造り、全国の商業を活性化させるため 4. 一揆を防止し、農民を農業に専念させることで年貢を確実に徴収するため
- 問4 宗教改革の影響により、カトリック教会の勢力が弱まったことを受けて結成された組織について説明した文として、適切なものはどれですか。 (2017年 京都府公立入試 類似)
1. 教皇の権威を取り戻すため、十字軍を組織してエルサレムの奪還を目的とした大規模な遠征を繰り返した。 2. イグナチウス・ロヨラがイエズス会を組織し、アジアや南アメリカなど海外への布教を積極的に行った。 3. プロテスタントの教えを積極的に取り入れ、聖書をドイツ語に翻訳して民衆への普及に努めた。 4. 免罪符（贖宥状）の販売をさらに拡大することで、サン・ピエトロ大聖堂の改築費用をまかなおうとした。
- 問5 16世紀後半の安土桃山時代に行われた、豊臣秀吉による「文禄・慶長の役」の背景や経過に関する説明として最も適切なものを次から選びなさい。 (2024年 熊本県公立入試 類似)
1. 明の征服を目指して大陸へ出兵したが、秀吉の病死により撤退した 2. 元寇による被害への報復として、九州の大名を動員して高麗へ侵攻した 3. 平清盛が始めた宋との貿易を再興するため、朝鮮半島との国交を求めて行われた 4. ポルトガル人による鉄砲伝来をきっかけに、種子島を領有するために開始された
- 問6 豊臣秀吉が全国の百姓に対して、刀、脇指（わきざし）、弓、槍、鉄砲などの武器を持つことを禁じ、それらをすべて没収した政策を何といいますか。 (2026年 広島県公立入試 類似)
1. 楽市・楽座 2. 身分統制令 3. 刀狩 4. 太閤検地
- 問7 豊臣秀吉は、天下統一の財源とするために有力な鉱山を直轄地（蔵入地）として支配しました。現在の島根県に位置し、秀吉が支配した当時、世界有数の銀の産出量を誇った鉱山の名称として正しいものを選びなさい。 (2016年 佐賀県公立入試 類似)
1. 佐渡金山 2. 生野銀山 3. 足尾銅山 4. 石見銀山
- 問8 16世紀半ばから始まった、主にポルトガル人やスペイン人を相手に行われた貿易を何と呼びますか。 (2026年 岐阜県公立入試 類似)
1. オランダ貿易 2. 南蛮貿易 3. 日明貿易 4. 日宋貿易
- 問9 1573年に、織田信長が当時の将軍を京都から追放したことにより、約240年続いた室町幕府は滅亡しました。このとき京都から追放された、室町幕府最後の将軍は誰ですか。 (2021年 千葉県公立入試 類似)
1. 足利義政 2. 足利義昭 3. 足利尊氏 4. 足利義満
- 問10 15世紀末、ポルトガル王の支援を受けてリスボンを出発し、大西洋を南下してアフリカ大陸南端の喜望峰を通過することで、インドへの直接航路を切り開いた航海者は誰か、次の中から選びなさい。 (2026年 神奈川県公立入試 類似)
1. パスコ・ダ・ガマ 2. アメリゴ・ヴェスプッチ 3. コロンブス 4. マゼラン
- 問11 豊臣秀吉が実施した太閤検地の際に作成された「検地帳」には、土地の一筆ごとに面積や等級（上・中・下・下々）が定められ、実際にその土地を耕作している農民の名前が一人ずつ詳細に記録されています。このように、土地の状況と耕作者を直接結びつけて記録した背景にある、秀吉の狙いとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 富山県公立入試 類似)
1. 複雑だった土地の権利関係を整理し、年貢を納める責任者を明確にすることで、安定した税収を確保するため。 2. 土地をすべて天皇の持ち物とする「公地公民」の原則を復活させ、律令国家の体制を再構築するため。 3. 特定の商人に土地の管理権を与え、城下町の商業を活性化させるための資金源とするため。 4. 農民に土地の自由な売買を認めることで、大規模な農地経営を促進し、農業技術を向上させるため。
- 問12 1559年から1601年までのキリスト教徒数の推移と、当時の社会情勢について述べた文章として、正しいものはどれですか。なお、1587年の法令発布後も、1601年には信者数が約30万人に達した記録があることを踏まえて答えてください。 (2026年 山口県公立入試 類似)
1. キリスト教徒が急増したため、豊臣秀吉は方針を転換して布教を公認し、全国に教会を建立させた。 2. 法令による宣教師の追放命令が出された後も、実際には貿易とともに布教活動が継続され、信者数は増加した。 3. 鎖国体制が完成したことにより、17世紀初頭には海外貿易が途絶え、キリスト教徒も減少に転じた。 4. バテレン追放令の徹底により、16世紀末には国内のキリスト教徒はほぼ存在しなくなった。
- 問13 1467年に始まった応仁の乱から、織田信長が活躍した安土桃山時代に至るまでの歴史的経過について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 福島県公立入試 類似)
1. 遣唐使によってもたらされた大陸の文化や武器の影響で下剋上の風潮が強まり、織田信長が本能寺の変で勝利して江戸幕府を開いた。 2. 徳川家康が朱印船貿易によって得た経済力を背景に、京都周辺で起こった応仁の乱を終結させ、室町幕府を滅亡させた。 3. 種子島に鉄砲が伝来したことで戦いの形式が変化し、これを利用した幕府が応仁の乱を鎮圧して中央集権化を進めた。 4. 将軍の跡継ぎ問題をきっかけに応仁の乱が起こり、幕府の権威が衰退して戦国大名が各地で争う戦国時代へと突入した。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 灰吹法（はいふきほう）	石見銀山では、1533年に博多の商人である神屋寿禎（かみやじゅてい）が朝鮮半島から技術者を招き、灰吹法を導入したことで銀の純度と生産効率が飛躍的に向上しました。この技術革新により、石見銀山は世界有数の銀産出地となり、大航海時代の世界経済に多大な影響を及ぼすこととなりました。また、この銀山は山陰地方の海岸に近い場所に位置し、輸出拠点へのアクセスが良いことも特徴でした。
問2	答え 3 土地に対する農民などの権利や所有関係を明確にし、生産意欲を高めたり税を確実に徴収したりすること	墾田永年私財法は開墾した土地の私有を認めることで農地拡大を促し、太閤検地は一つの土地に対して一人の耕作者を検地帳に登録することで、農民の耕作権を保障すると同時に年貢を納める責任を明確にしました。どちらも土地をめぐる権利関係を整理する重要な転換点です。
問3	答え 4 一揆を防止し、農民を農業に専念させることで年貢を確実に徴収するため	豊臣秀吉が実施した「刀狩」は、農民が武器を持つことで一揆が起こることを防ぎ、耕作に専念させることで安定した年貢収入を確保することを目的としていました。これにより、武士と農民の身分の区別が明確になる「兵農分離」が大きく進むこととなりました。
問4	答え 2 イグナチウス・ロヨラらがイエズス会を組織し、アジアや南アメリカなど海外への布教を積極的に行った。	カトリック教会は、プロテスタントに対抗して内部の立て直しを図るとともに、イエズス会を通じて世界各地にカトリックを広めようとしていました。フランシスコ・ザビエルによる日本へのキリスト教伝来も、この流れの一環です。
問5	答え 1 明の征服を目指して大陸へ出兵したが、秀吉の病死により撤退した	豊臣秀吉は天下統一を成し遂げた後、さらなる領土の拡大と明の征服を目的として、二度にわたって朝鮮半島へ大軍を送り込んだ。これが文禄・慶長の役である。この出兵は現地の抵抗や明の援軍により難航し、1598年に秀吉が病死したことで日本軍は引き揚げ、終結した。種子島への鉄砲伝来（1543年）はこの出兵より前の出来事である。
問6	答え 3 刀狩	豊臣秀吉は、百姓が武器を持って一揆を起こすことを防ぐためにこの政策を実施しました。没収した武器は大仏建立の釘や鋸（かすがい）に使うという名目でしたが、真の目的は農民を農業に専念させ、社会を安定させることにありました。
問7	答え 4 石見銀山	島根県に位置する石見銀山は、戦国時代から江戸時代にかけて大量の銀を産出し、世界の経済にも大きな影響を与えた鉱山です。豊臣秀吉はこの銀山を直接支配することで、強大な経済力を手に入れ、軍事や外交の基盤としました。
問8	答え 2 南蛮貿易	この貿易は、当時「南蛮人」と呼ばれたポルトガル人やスペイン人が、東南アジアの拠点を經由して日本に来航したことで始まりました。キリスト教の布教を伴うという、それまでのアジア近隣諸国との貿易にはなかった大きな特徴を持っています。
問9	答え 2 足利義昭	織田信長は1568年に足利義昭を奉じて京都に入り、彼を第15代将軍に就けましたが、その後両者は対立を深めました。信長が1573年に義昭を京都から追放したことで、足利氏による幕府機構は事実上消滅しました。足利尊氏は室町幕府の初代将軍、義満は第3代、義政は第8代将軍です。
問10	答え 1 バスコ・ダ・ガマ	ポルトガルの支援を受けたこの人物は、アフリカ大陸を大きく回る東回り航路を確立しました。これにより、地中海を経由せずにアジアの香辛料を直接手に入れることが可能となり、ポルトガルに多大な富をもたらしました。スペインの支援で西へ向かったコロンブスや、初の世界周航を成し遂げたマゼランの艦隊と区別する必要があります。
問11	答え 1 複雑だった土地の権利関係を整理し、年貢を納める責任者を明確にすることで、安定した税収を確保するため。	太閤検地以前の日本では、一つの土地に対して何層もの中間搾取が行われるなど、権利関係が非常に複雑でした。秀吉は「一地一作人の原則」を導入し、実際に耕作している者を検地帳に登録することで、誰が年貢を納めるべきかを確定させました。また、枳（ます）の大きさを全国で統一し、収穫量を「石高」という共通の単位で把握することで、全国一律の課税体系を整えました。
問12	答え 2 法令による宣教師の追放命令が出された後も、実際には貿易とともに布教活動が継続され、信者数は増加した。	1587年にバテレン追放令が出されましたが、豊臣秀吉が南蛮貿易の利益を重視して南蛮船の来航を認めていたため、貿易に付随する形での布教活動を完全に防ぐことはできませんでした。そのため、法令が出された後もキリスト教徒の数は増え続け、17世紀初頭には約30万人にまで達しました。
問13	答え 4 将軍の跡継ぎ問題をきっかけに応仁の乱が起こり、幕府の権威が衰退して戦国大名が各地で争う戦国時代へと突入した。	室町幕府の8代将軍足利義政の跡継ぎ問題などを原因として1467年に応仁の乱が発生し、約11年間にわたる戦乱によって幕府の支配力は大きく低下しました。これにより、実力のある者が上位の者に打ち勝つ「下剋上」の風潮が広まり、各地の戦国大名が領国支配を強める戦国時代へと移行しました。鉄砲の伝来は戦国時代後期の1543年であり、遣唐使は平安時代以前、朱印船貿易は安土桃山時代から江戸時代初期の事象であるため、時代背景が異なります。